

# 一般社団法人 スピードキュービングジャパン 事業報告書

2024年10月13日

代表理事 大村周平

第4期

2023年 8月1日から 2024年 7月31日まで



## ■ SCJについて

---



第4期において、SCJは定款を改定し、新たな会員枠を設けました。この変更により、スピードキュービング文化の普及・発展を担う役割をSCJ会員の皆様に託し、SCJ自身は会員の皆様が活躍できるよう事務的サポートを行う役割を明確にしました。黎明期を支えてくださった方々への敬意を忘れず、互いが顔見知りであった時代の規模にとらわれることなく、全国に仲間を増やし、文化として根付いていく未来を描いています。

2024年はルービックキューブ発明50周年の記念の年でもありました。スポンサーである株式会社メガハウス様の主導により開催された全国各地でのルービックキューブ50周年チャレンジツアーなど、多くのイベントが行われました。特に、SCJ記録認定会では、これまで想像もできなかった多くの方々にお越しいただき、スピードキュービング愛好家が全国に多数存在している現状を再確認することができました。一方で、まだ我々の活動がこうした方々に届いていないことに歯がゆさを感じ、今後の普及に向けて一層の努力をしていく所存です。

世界キューブ協会によるWCA大会も、世界中でさらに盛り上がりを見せています。

スピードキュービングのさらなる普及・発展を目指し、愛好家の皆様には変わらぬご支援をお願い申し上げます。

- 設立日 2020年10月12日
- 会計年度 8月1日 より 7月31日 まで
- 役員
  - 代表理事 大村周平
  - 理事 荒木慎平
  - 理事 上田浩登
  - 理事 須賀慶
  - 理事 濱田祐一
- 社員 11名
- 主な事業
  - スピードキュービングを通じた、地域及び国際的な貢献と交流に係る事業
  - 日本国内におけるWorld Cube Associationの公認する大会の統括事業
  - 当法人独自に定める競技規則に基づく大会の統括事業



**SCJ**  
Speedcubing Japan

株式会社メガハウス様に活動費の支援をいただきました。  
改めまして感謝申し上げます。



株式会社 **メガハウス**

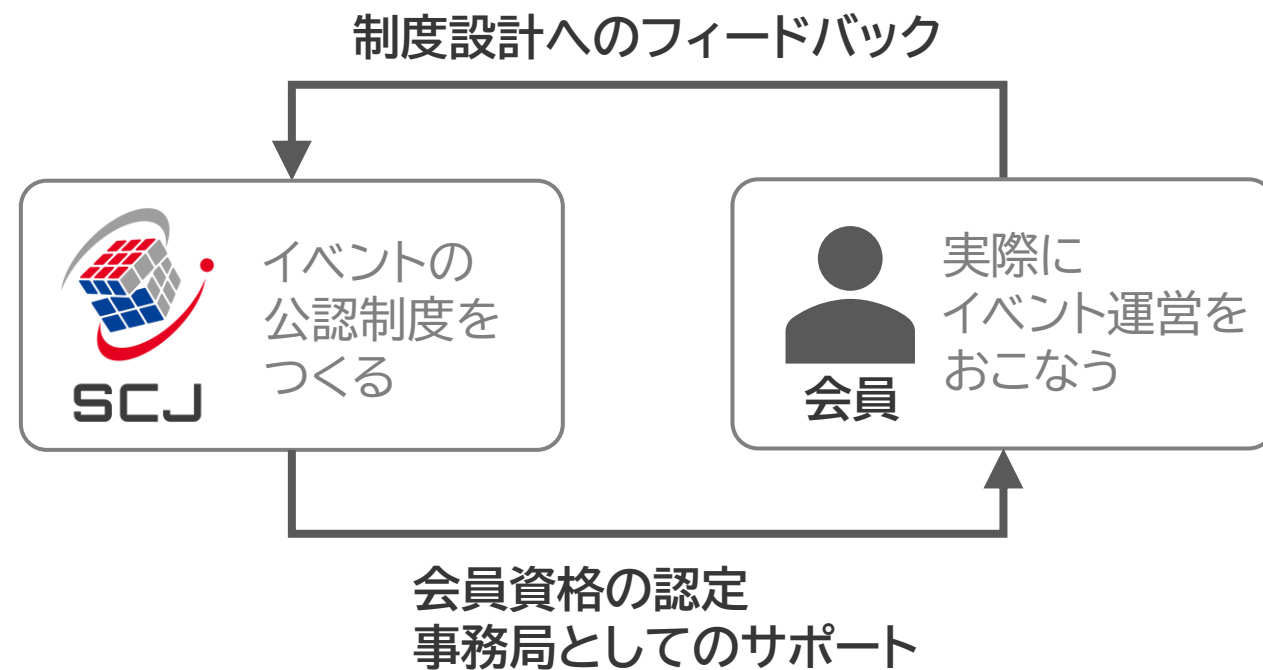
各種制度設計を担う事務局としてのSCJと、その制度を日本各地で実装する会員の役割分担を明確化した。

- 定款を改訂し、会員の枠組みを設けた。
  - イベントの公認資格制度をつくるSCJ事務局とそれを実装する会員に役割を分離した。

事業展開のスケールアウトは  
会員数拡大によってねらう。

## ■ 会員の特典

- 自身が統括するイベントに、SCJ公認のネーミングを使用することができる。
- 円滑な活動に役立つ情報交換や、ツール・サービス利用権限など、事務的なサポートを得ることができる。



## ■ 競技人口拡大ビジョン

---



2023年1月に掲げた普及目標。  
2030年に年間10,000人の競技人口獲得を目指している





第4期の競技人口 ユニーク数は **2,567人** (3事業の合計)  
2024年の中間目標設定 1,000人を大きく上回った。

## ■ 2,567人 ユニーク数の内訳

### ■ SCJ記録認定会

- **1,745人** ルービックキューブ50周年チャレンジツアー 初参加者数
- 654人 各地の記録認定会 (参考値、ユニーク数の集計なしのため合算していない)

■ SCJ大会 **237人** (前年度137人, +72%)

■ WCA大会 **585人** (前年度423人, +38%)

いずれも、事業内では同一人物の参加を重複しないユニーク数を集計している。  
WCA大会とSCJ大会は参加者IDから集計し、  
SCJ記録認定会では参加者アンケートに「初参加」と回答した人数となる。

# 普及活動

---



## 問い合わせへの対応・サポートを実施中

- Web問い合わせフォームより、全国各地からイベント開催予定や自主開催サポートについて問い合わせをいただいている。
- 特に自発的な開催意欲が強いご相談には、オンラインミーティングや資料提供などを行っている

## 各種イベントへのブース出展を行った。

- 代表的な協力イベント
  - ルービックキューブ50周年チャレンジツアー
    - 主催 (株)メガハウス
  - ハンガリーフェスティバル2023
    - 主催 駐日ハンガリー大使館
  - 慶應義塾中等部 同窓会



## ルービックキューブ 完全攻略公式ガイドブック ver3.0 好調に増刷中

- 各地の書店や  
Amazonなどオンラインショップで  
お求めいただけます。

<https://www.nagaokashoten.co.jp/book/9784522440384/>



スピードキュービング段級位基準をver2.0に更新し、  
段位 (6面完成)と級位 (1面完成)の到達基準に  
整合性を持たせた。

- 上達の目安となる基準を公開することで、  
多くの方や教育機関に引用される  
参考資料となることを目指している。
- SCJ記録認定会で発行する記録認定証には  
段級位基準を引用し、  
タイムとともに認定している。

## スピードキュービング 段級位基準

Ver 2.0  
2024年 2月1日 発行

段位の対象：自力で 3x3x3キューブの6面を そろえられる人		
段位	九段	10秒 未満で 6面完成
	八段	15秒 未満で 6面完成
	七段	20秒 未満で 6面完成
	六段	25秒 未満で 6面完成
	五段	30秒 未満で 6面完成
	四段	45秒 未満で 6面完成
	三段	1分 未満で 6面完成
	二段	2分 未満で 6面完成
初段	10分 未満で 6面完成	
級位の対象：自力で 3x3x3キューブの1面を そろえられる人		
級位	1級	10秒 未満で 1面完成
	2級	15秒 未満で 1面完成
	3級	20秒 未満で 1面完成
	4級	25秒 未満で 1面完成
	5級	30秒 未満で 1面完成
	6級	45秒 未満で 1面完成
	7級	1分 未満で 1面完成
	8級	2分 未満で 1面完成
	9級	10分 未満で 1面完成

1面の色は6色のうち何色でもかまいません。  
1面の側面色も含わせる「完全1面」である必要はありません。  
完全1面を揃えても、もちろんかまいません。

# SCJ記録認定会

---





実装初年度から多数の参加をいただき、  
これから文化の中核を担うポテンシャルを実証できた。

- SCJ記録認定会は昨年度終盤に発足した新規事業で、今年度から本格的に展開した。
- スピードキュービング普及のための制度設計
  - 幅広い実力の人に楽しんでもらう
    - 紙の記録認定証そのものが参加記念グッズとなる
    - 段級位認定は、パズル完成タイムに幅をもたせたバンドで定義
    - 6面完成のほかに、1面完成部門を設定
    - 一発勝負。緊張感や運の要素を持たせ、また参加しようと思ってもらう
  - 多くの地域で運用してもらおう
    - 運営企画への参入ハードルを下げるため、運用規則は大枠にとどめる。
  - SCJとしての事業維持コストを下げる
    - 細かな開催記録を蓄積せず、個人ランキングなどもつukらない





## 全国10会場 1,898名へ記録認定証を発行した

### ■ 開催期間

2024年 5月から8月まで

### ■ 開催地 10会場

博多、横浜、池袋、熱田、山形、  
大阪、新小松、宮城、高知、広島

### ■ 参加者数

1,898名 (6面完成 1,400名、1面完成 498名)  
初参加 1,745名

### ■ SCJの活動内容

- SCJ記録認定会へのSCJ会員の派遣
- 1面完成レクチャー指導員としての  
地元協力者の募集

### ■ 運営体制

主催: (株)メガハウス

協力: (一社)スピードキュービングジャパン

後援: 駐日ハンガリー大使館



# SCJ会員によるフランチャイズ展開

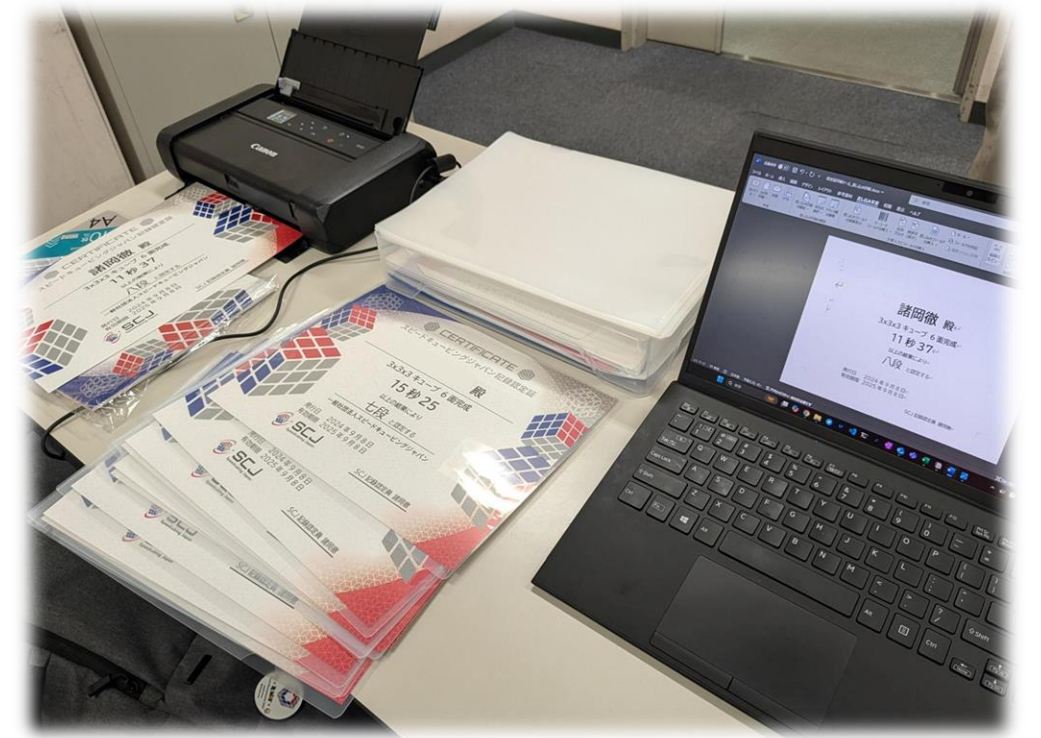
---

全国各地のサークルで、のべ654枚の記録認定証を発行した。

- SCJ会員によるフランチャイズ展開の仕組みを順調に運用開始できた。
  - 会員にはSCJ記録認定会の監督資格があり、自身の裁量で記録認定証を発行できる。
  - 開催予定は一般周知しなくてもよく、クローズドの開催でもかまわないとした制度設計が会員のニーズにマッチする事例を確認できた。
    - サークルが地元地域に根ざした開催を目的としている場合などには、過度な外部宣伝が噛み合わない事情がある。
    - それぞれのSCJ会員の嗜好によって、幅をもたせた運用が普及につながる]
- 級位 1面完成部門も好評
  - 初学者や当日の飛び込み参加を中心に、1面完成部門の参加者も多い。

記録認定会を持続的に発展させていくための支援体制を構築している。

- ルール整備
  - 実施要項
  - 記録認定員規定
- SCJ会員への事務局サポート
  - 記録認定証 公式フォーマット用紙の提供
  - 多数の記録認定証を発行効率化の差込み印刷ツール
- 過度な無償奉仕を避ける仕組みづくり
  - 記録認定証の公式フォーマット用紙は、一定の金額でSCJから記録認定員に提供する。
  - 記録認定員は、用紙原価を考慮した適切な参加費を設定し、持続的なイベント開催のための収入源とする。



# SCJ大会

---



## SCJ大会の考え方を変更し、 2024年7月より新たな枠組みで運用している。

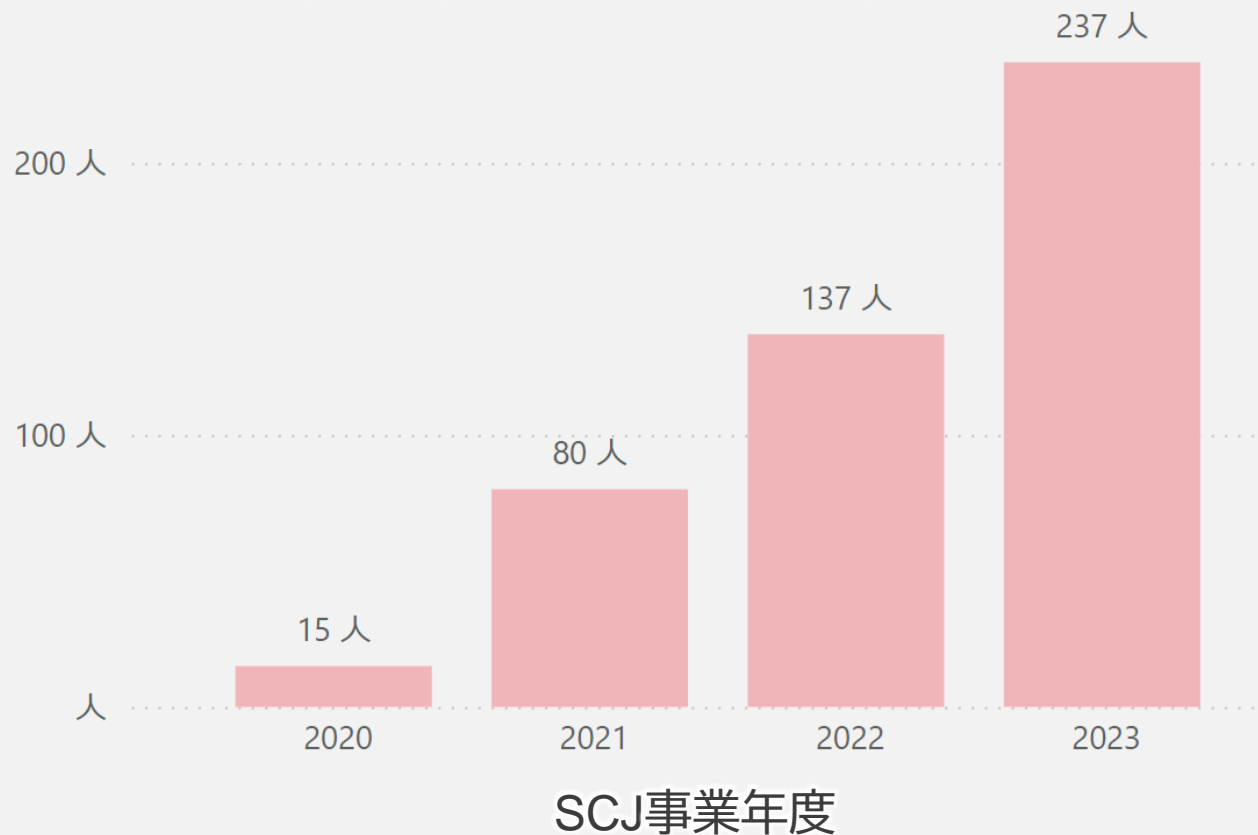
- 2024年6月をもって運用終了した点
  - 個人ごとの SCJ ID 採番
    - IDごとのユーザー管理、個人ごと記録の蓄積
    - 大会参加履歴ページの作成
  - 大会横断の総合ランキング作成
- 運用変更の理由
  - 個人IDを管理するシステム開発・運用保守の管理工数がかさみ、事業持続性に懸念があった
  - 想定よりも開催地域が少なかった
    - 当初は全国各地のサークルなどで多発的に開催してもらうことを目指していたが、実際は特定の数地域にとどまった。



参加者の方々、またイベントを主催していただいた団体に感謝申し上げます。

- 実施期間
  - 2020年12月から 2024年6月まで
- 大会数
  - 合計 24大会
- 参加者数
  - 407名
  - 最終年度は 237名

## SCJ大会 事業年度ごとの参加者数



## 寛容なイベント公認の枠組みで 全国各地に使ってもらえる制度を目指す

- イベントが一定の枠組みに沿っている場合、「SCJ公認」の証明をつけられる
  - 厳密な競技形態を定めるのではなく、SCJ会員の現地立会いをSCJ公認の要件とする。
  - イベント主催者は、SCJ公認であることを宣伝に活用できる
- □バストな競技形式
  - スピードキュービングの競技形式や参加者のカテゴリ分けは厳格に規定しない
    - WCA大会のような5回計測の平均のほか、1 on1 の対人トーナメントなど、多様な枠組みを受け入れる。
    - 新しい種目やイベント形態でも、スピードキュービングの普及手段として妥当であれば前向きに検討する。
  - 結果は個別の大会の中でのみ比較する
    - 個々の大会結果は各主催者によって発表され、SCJのような統括団体によって管理されない。
    - 競技イベントの枠組みが多様なことから、大会間の比較はそもそも意味をなさない。

# WCA大会

---





# WCA地域団体としてのSCJ

---

## SCJはWCA地域団体として、 日本国内でのWCA代理人支援や広報拠点をつとめている

- WCA (世界キューブ協会)は各国に直轄の組織を持たず、WCA代理人のみを規定している。  
<https://www.worldcubeassociation.org/delegates#asia-east-southeast>
- WCAは各地域ごとにWCA地域団体を認定し、WCAのパートナーとして担当地域でのWCA活動を協力している。  
<https://www.worldcubeassociation.org/organizations>
- SCJは、日本地域を担当するWCA代理人の円滑な活動を支援する。
  - WCA代理人による広報手段として、SCJ Web、SNSなどの提供
  - タイマーなどの備品管理や、日本国内でのイベントスケジュールの調整
  - WCA大会の開催そのものはSCJのスコープ外としている。

## 13大会の開催を支援し、585人の参加があった。

### ■ 期間

- 2023年8月から 2024年7月まで

### ■ 大会数

- 9日間にのべ13大会 (同日内での複数シリーズ大会を含む)

### ■ 参加者数

- 585名

### ■ 日本国内の大会一覧 (WCAサイトへ遷移します)

[https://www.worldcubeassociation.org/competitions?region=Japan&search=&year=all+years&state=past&from\\_date=&to\\_date=&delegate=&display=list](https://www.worldcubeassociation.org/competitions?region=Japan&search=&year=all+years&state=past&from_date=&to_date=&delegate=&display=list)

## WCA大会の運用コストを下げるため、SCJ webページによる参加申込などのローカライズを廃止した

- WCAオリジナルの参加申込ページの活用 (2024年7月より)
  - 従来はWCA大会の申込受付のためにSCJ web内に大会ごとの専用ページを作成してきたが、廃止する。webページ構築の技術的専門性が高く担当者が限られ、持続的な運用保守が困難になっていたことが長年懸案であった。

### ■ 全体的な Fit to Standard 方針への切り替え

Webサイトに限らず、WCA大会運営のために様々なツールが有志によって市民開発・運用されてきた。しかしこれらは結局引き継がれず、技術的負債になってしまった。

今後は日本独自のローカライズを最低限にとどめ、英語で準備されたWCAオリジナル資料やツールを活用するよう方針転換する。

- WCA自身も各種サポート資料を充実させており、今日では十分な情報量がそろっている。
- 生成AIや機械翻訳など、英語資料を理解するサポート技術が誰にでも手に届く時代となった。

# 決算概要説明

---



# 正味財産増減計算書の要旨

## ▲131万円の赤字決算となった。

- 主な経常収益
  - スポンサー支援
  - 「ルービックキューブ ver3.0 完全攻略ガイドブック」印税
- 主な経常費用
  - SCJ 事務局 人件費
  - ルービックキューブチャレンジツアーなど、各地イベントへの人員派遣 交通費・宿泊費
  - スピードスタックス タイマー・ディスプレイの追加購入
  - 税理士事務所への決算処理委託

## 正味財産増減計算書の要旨

自 2023年8月1日 至 2024年7月31日

単位：円

科目	金額	科目	金額
経常収益計	1,604,817	税引前当期一般正味財産増減額	-842,015
経常費用計	2,446,864	法人税、住民税及び事業税	70,000
当期経常増減額	-842,047	当期一般正味財産増減額	-912,015
経常外収益計	32	一般正味財産期首残高	-402,453
経常外費用計	0	一般正味財産期末残高	-1,314,468
当期経常外増減額	32		
		<b>正味財産期末残高</b>	<b>-1,314,468</b>

# 貸借対照表の要旨

## 負債・正味財産合計 約384万円

- SCJは非営利徹底型の一般社団法人であり、第4期は収益が発生しなかったために国税は非課税です。
- 市民税と県民税の均等割7万円を納税しています。

### 貸借対照表の要旨

2024年7月31日現在

単位：円

科目	金額	科目	金額
流動資産		流動負債	
現金及び預金	3,771,965	未払金	4,911,938
未収収益	71,505	未払法人税等	70,000
		前受金	176,000
		<b>負債合計</b>	<b>5,157,938</b>
		<b>正味財産合計</b>	<b>-1,314,468</b>
<b>資産合計</b>	<b>3,843,470</b>	<b>負債・正味財産合計</b>	<b>3,843,470</b>